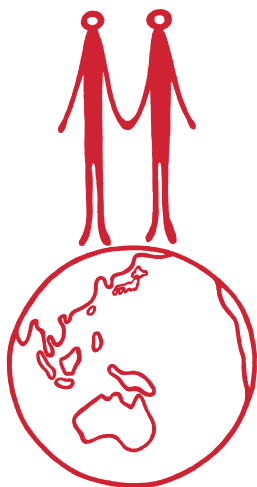


第23期 株主通信

2007年4月1日から2008年3月31日まで

株主の皆様へ



Your Global IT Partner.

あなたの、グローバルITパートナーを目指して。

コーポレートビジョン

お客様の満足の大きさが
我々の存在価値の大きさであり、
ひとりひとりの成長がその大きさと未来を創る。

お客様企業へのコミットメント

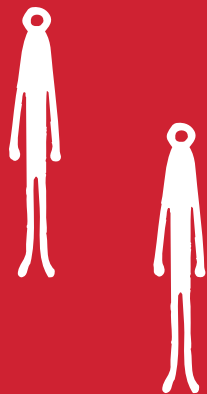
常に世の中の技術動向を把握し、人と技術の融合により
付加価値と品質の高いサービスを継続的に提供する。
お客様に信頼される真のパートナーシップを構築する。

社員へのコミットメント

社員は無限の可能性を秘めた最大の資産であり、
個人の成長に必要な教育支援を惜しまない。
機会は公平に与え、実績と能力によって適正な報酬と
新たな成長の機会を提供する。

社会・株主へのコミットメント

グループの成長により株主価値を高めるとともに、
社会の進歩に貢献する。



●ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第23期（2007年4月1日から2008年3月31日まで）の事業および業績についてご報告申し上げます。

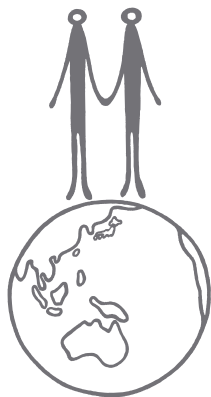
当社は、『デジタルマーケティングサービス』、『コールセンターサービス』、『ビジネスプロセスアウトソーシングサービス』、『ビジネスプロセスソリューションサービス』、『エンジニアリングソリューションサービス』、『中国オフショア開発サービス』等を当社グループ企業と有機的に結びつけることにより、お客様企業のマーケティング活動の最適化および効率化、売上の拡大、新規顧客の獲得、並びに顧客満足度向上の実現などに取り組んでおります。また、これらのサービスは国内のみならず、中国・韓国を中心としたアジア地域や北米など5ヶ国でも国内と同等の品質と技術を提供しております。その他、3Dバーチャルコミュニティ（メタバース）の「meet-me」をはじめとしたB to Cメディアサービス事業、常に国内外の最新テクノロジーをサービスメニューに取り込みサービス競争力向上を図るなど戦略的な投資を含めた事業開発投資（コーポレートベンチャーキャピタル事業）を展開しております。

当期の連結売上高は164,771百万円と、前期比16.5%の増収となりました。しかしながら連結経常利益につきましては、単体情報サービス事業は順調に推移いたしましたが、コーポレートベンチャーキャピタル事業における株式減損処

理額の増加などにより、3,677百万円と、前期比49.5%の減益となりました。また、会計基準の改正に伴う繰延税金資産の取り崩しを行い、法人税等調整額が約2,200百万円増加した結果、当期純損失は3,139百万円となりました。株主の皆様には多大なご心配をおかけしておりますが、この結果を踏まえ、全社一丸となって業績回復に取り組んでまいり所存でございます。

2008年3月期の配当金につきましては、当社の財務状況および業績見通しを総合的に勘案し、株主の皆様のご期待に応えたいと考えており、期初の計画どおり、当期末1株40円(普通配当20円、特別配当20円)とさせていただく予定であります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



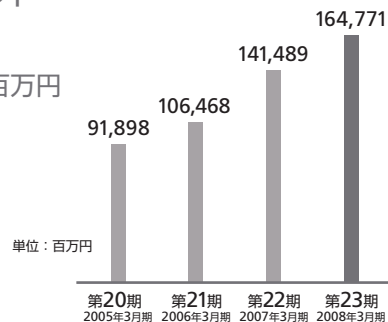
2008年6月

トランスコスモス株式会社
代表取締役社長兼COO

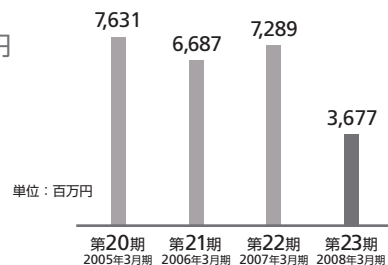
奥田昌孝

● 連結決算のポイント

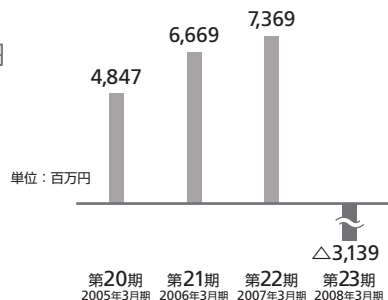
売上高
164,771百万円
前期比 **16.5%** 増



経常利益
3,677百万円
前期比 **49.5%** 減



当期純損失
3,139百万円



■ 連結決算のポイント

【売上高】

主力のデジタルマーケティングサービス、コールセンターサービスを中心に情報サービス事業が引き続き好調に推移し、前期比16.5%の増収となりました。

【経常利益】

主力の単体サービスが好調に推移したものの、新規子会社の増加やMCMセンターの新設などにかかる先行投資による費用の増加、また株式市場の低迷に伴う売却益の減少や所有株式の減損処理などにより前期比では41.5%の減益となりました。

【当期純損失】

会計基準の改正に伴い過年度に計上した繰延税金資産の取り崩しに伴う税金費用を法人税等調整額として約2,200百万円等を計上するなど、3,139百万円の損失となりました。

中国、韓国、ASEANを中心にグローバル化を加速

当社は、中国・韓国を中心としたアジア地域や北米など6ヶ国（※2008年6月現在）において、日本国内で展開しているデジタルマーケティングサービス、コールセンターサービス、ビジネスプロセスアウトソーシングサービスをはじめとした、多彩なサービスを国内と同等の品質・技術で提供しています。

中国

- transcosmos MCM Shanghai
- transcosmos MCM Hong Kong
- transcosmos information creative
- transcosmos information system
- transcosmos design development
- TLX transcosmos
- omegia
- oneXeno
- TECHSYN 携信互动
- WEBDNA INTERACTIVE
- Wecosmos Ultimate Customer Experience

タイ

- MTS
- シンガポール transcosmos MCM Asia Pacific
- MANDATE Singapore

フィリピン

- LOGICALL

■直近の主な海外進出状況

2004

- 中国** (ES)
- 工業デザイン・試作会社「青島宙慶工業設計(中国)有限公司」と資本・業務提携、設計開発関連ビジネスに参入
 - (DM)
 - ネット広告・コンサルティング会社「One Xeno Limited」に資本参加、インターネット関連ビジネスに参入

- タイ** (CC)
- コールセンター運営会社「ミットサイアム・テレサービス」と資本業務提携、コールセンタービジネスに参入

2005

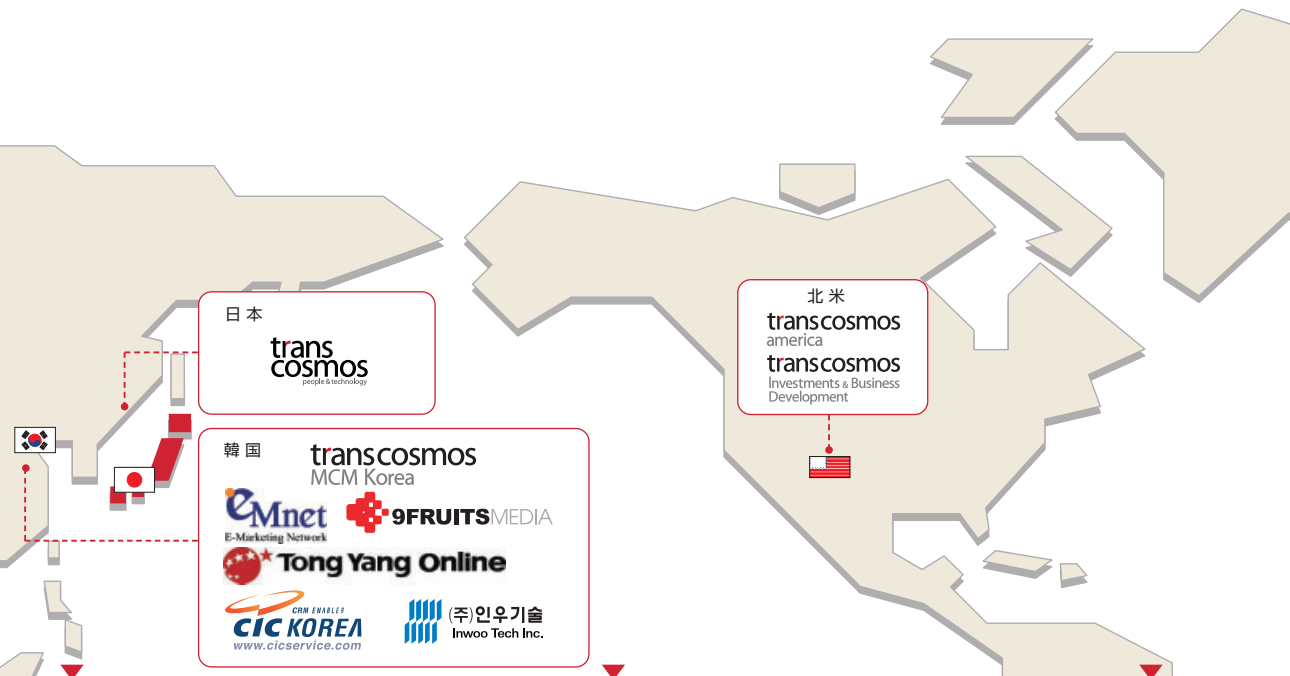
- 中国** (BPS)
- 大宇宙情報システム(上海)有限公司を設立、中国に初のデータエントリーセンターを開設
 - transcosmos MCM (Shanghai) Co., Ltd. を設立、中国における事業戦略拠点を築く

- 韓国** (DM)
- 大手ネット広告代理店「9FRUITSMEDIA, Inc.」と資本提携、インターネット関連ビジネスに参入

常に付加価値の高いサービスを提供するため、当社事業とシナジー(相乗効果)の高いビジネスの発掘や最新テクノロジーの情報収集・研究活動を目的とする、初の海外拠点、米国事業所を開設したのは1989年のことでした。

1995年、海外における初の戦略事業会社である「大宇宙情報創造(中国)有限公司」の設立を皮切りに、継続的に子会社の設立や現地

企業との合弁会社設立・出資を行い、現在では16社(※2008年6月現在)のグループ企業を保有しています。私たちは各国で、日本で培った豊富なサービス実績やノウハウを移植・現地化しています。一方で、各国のマーケット事情を熟知した現地有力企業との提携を推進し、日本国内と同等の品質を保ちつつ、各国市場に適したサービスを提供できる体制の整備を図っています。



日本
transcosmos
media & technology

韓国
transcosmos
MCM Korea
E-Mnet 9FRUITS MEDIA
E-Marketing Network
Tong Yang Online
CRM ENABLED
CIC KOREA www.cicservice.com
(주)인우기술 Inwoo Tech Inc.

北米
transcosmos
america
transcosmos
Investments & Business
Development

2006

- 中国
- 設計データ作成会社「大宇宙設計開発(大連)有限公司」を設立
 - コールセンター運営会社「微創大宇宙コンサルティング有限公司」を設立

ES
CC

- 韓国
- transcosmos MCM Korea Co.,Ltd.設立、韓国における事業戦略拠点を築く
 - 韓国のCRM専門会社「Inwoo Tech,Inc.」の経営権を取得

CC BPO

2007

- 中国
- 大宇宙情報システム(本溪)有限公司を設立、中国で2拠点目となるデータエントリーセンターを開設
 - オンライン広告会社「騰信互動集團(TENSYN Interactive Group)」と資本提携
 - デジタルクリエイティブブティック「O1 Media Limited」と資本提携
 - 瀋陽大宇宙情報システム有限公司を設立、中国で3拠点目となるデータエントリーセンターを開設

BPS
DM
DM
DM
BPS

- 韓国
- オンラインゲームの開発・運営会社「東洋オンライン」と資本提携
 - 韓国のSEM(検索連動型広告)分野で最大手の「EMNET INC.」と資本提携

シンガポール

- シンガポールの広告代理店「Mandate Advertising International Pte Ltd.」と資本提携
- transcosmos MCM Asia Pacific Pte. Ltd. 設立、ASEAN地域における事業戦略拠点を築く

DM
DM
DM

2008

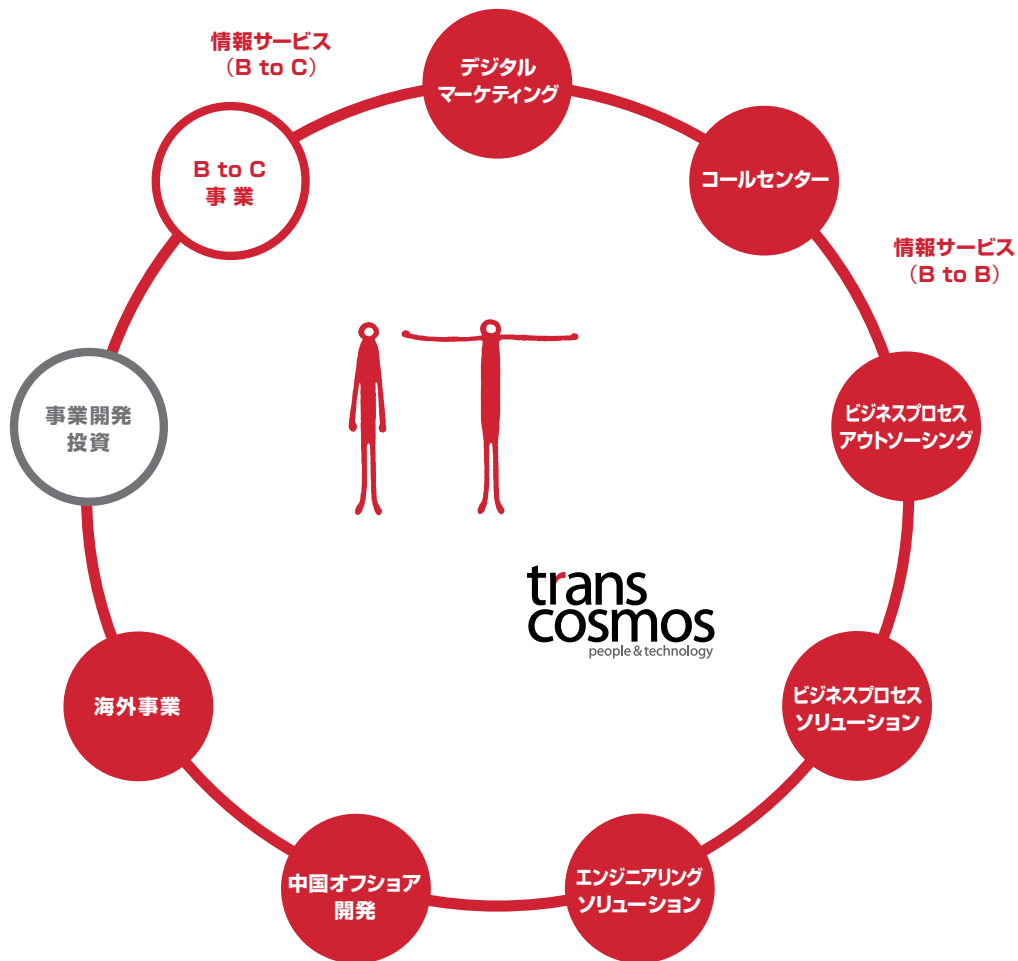
- フィリピン
- 米国をはじめとする英語圏向けコールセンター運営会社「Logically Inc.」と資本提携、英語圏のコールセンタービジネスに参入

CC

Your Global IT Partner.

グローバル＝コストパフォーマンス×きめ細やかさ。これがトランスコスモスのITパートナー方程式です。

規制緩和、個人情報保護法やCSRの登場。そしてグローバルな競争…。ベストなITサービスが、経営クオリティを決める時代が到来しています。世界市場から最高の技術と最もコストパフォーマンスの高い人材を、日本ならではの、きめ細かくカスタマイズされたITサービスに統合する。これがトランスコスモスの提供するバリューです。

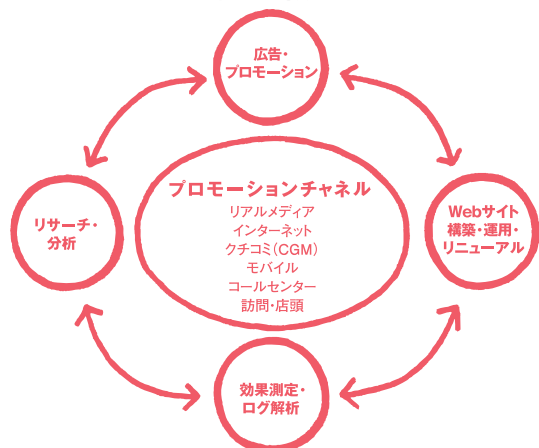


DM Digital Marketing



デジタルマーケティング

デジタルマーケティングは、インターネットをベースに企業のプロモーションやセールス活動などのマーケティング活動全般を支援するサービスです。



インターネット広告をはじめ、各種広告・プロモーションやマーケティングリサーチなど、企業のプロモーション活動を支援する広告代理事業、Webサイトの構築・運用などを提供するWebインテグレーション事業、イベントやキャンペーンセールス、店頭・訪問セールスなど企業の営業活動を支援するセールスサポート事業など、企業のマーケティング活動全般の支援を行っています。

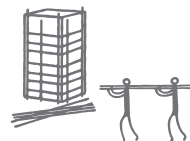
- クロスメディア
- インターネット広告
- Webサイト構築・運用
- モバイル
- セールスサポート
- マーケティングリサーチ

■2007年度の主な取り組み

中期経営計画で目標のひとつとして掲げた「デジタルマーケティング業界でナンバーワンの地位を確立」を実現するため、下記の3点を中心に取り組みました。

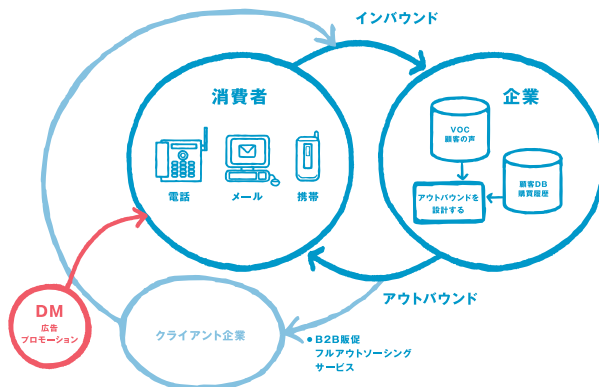
- インターネット広告の営業体制をこれまでの約2倍に増強しました。
- 日本最大級となるWebサイト制作体制を構築しました。2008年度には全国1,050名体制を目指します。
- 企業の売上拡大に直接貢献するセールスサポート事業を強化しました。2008年度には全国で7拠点・700名体制を目指します。

CC CallCenter



コールセンター

消費者の“生の声”をキャッチする。それはコールセンターの重要な機能です。私たちは、汲み上げた声をさらに新しいサービスに活かし、付加価値を創出しています。



企業のコールセンターでは、提供する商品・サービスについてのお客様からの質問やお問い合わせに、電話での対応を専門的に行います。当社は、このコールセンター業務を企業に代わって行うアウトソーシングサービスを提供しています。また、顧客からの問い合わせだけでなく、商品・キャンペーン等の各種案内やセールスなど架電対応するアウトバウンド業務のサービスも提供しています。

- インバウンドサービス
- アウトバウンドサービス
- コールセンターシステムの構築・運用

■2007年度の主な取り組み

- 地方での積極的なコールセンターの開設により、優秀な人材を潤沢に確保し、競争力の強化を図りました。
- 競合環境の激化や法改正、サービス領域の拡大などを追い風に、金融・通信・流通・公共分野への営業活動を強化したため、この4業種における売上高前年比は132%伸張しました。
- コールセンターに寄せられる「お客様の生の声」(VOC: Voice of Customer)を企業のマーケティング活動に活かすため、独自のVOC分析方法論の開発にいち早く着手し、国内最大規模の分析力と分析環境を整備しました。

BPO Business Process Outsourcing



ビジネスプロセスアウトソーシング

企業のシステム導入からサポート、教育、開発、定着まで、ワンストップで迅速に対応しています。

企業のIT戦略実現を支援するビジネスパートナーとして、IT戦略立案支援からIT運用プロセス診断・設計・構築・実行までのトータルソリューションを提供。ITアウトソーシングサービスでは利用者への的確なフォローだけでなく、利用促進のための社員教育といった運用面でのサポートもします。さらに、受発注業務や経理業務など人手を要する業務、スキルと体制が必要なインフラ保守、短納期でコストを抑えたシステム開発まで展開。業務効率を高めるワンストップのITアウトソーシングを提供しています。

- システム構築 ● 検証 ● サポートデスク・AP保守
- システムマネジメント ● ビジネスサポート

ES Engineering Solution



エンジニアリングソリューション

開発・設計・試作・システム開発に対して、グローバルレベルでバックアップしています。

新型自動車や、次期航空機、新型新幹線や次世代携帯電話など、モノの設計、解析、実験評価、試作、生産技術などを行うDS事業、建築設計を中心に、住宅やビルなどの建設物の構造・設備設計を行うCAD事業、開発効率化のために使用されている多くのハードやソフトを相互連携・共有化し、システム開発／管理の分野で開発現場を土台で支えるTES事業。企業の設計／開発分野をサポートするトータルソリューションを提供しています。

- デザインソリューションサービス ● CAD業務支援サービス
- システム開発支援サービス ● 基盤系支援サービス

7

BPS Business Process Solution



ビジネスプロセスソリューション

大量の顧客データを、素早く、確実に、高いコストパフォーマンスで一括処理。個人情報保護と内部統制の時代に、なくてはならないアプリケーションサービスを提供しています。

ビジネスプロセスの診断・設計・構築・実行までの業務代行と、業務改善のコンサルテーションを行います。国内最大級のデータエントリーセンター機能と、「eトレース」を使ったトレーサビリティをバックボーンに、カード発行や各種申込書などの個人情報書面の回収・受付業務代行やヘルプデスクなど、企業の競争力を高める一歩先のASPサービスを提供しています。

- データエントリー ● イメージファイリング
- 中国エントリー ● ペーパーレス ● e文書管理
- 電子申込書サービス

中国 Offshore System Developing



中国オフショア開発

上流設計から保守まで一括受託。高品質かつ圧倒的なコストパフォーマンスとスピードを提供しています。

オフショア開発とは、国内のソフトウェアや各種システムの開発・運用を海外の事業者へ委託することです。当社は、中国を拠点に、オフショア開発サービスを提供しています。このサービスの最大のメリットは、大幅な原価削減が期待できる点です。中国の拠点を通じて、システム開発にかかるコスト、その他、施設・人員・インフラなど様々な面でかかるコストの大幅削減を実現しつつ、日本国内と同等の品質と技術を提供しています。

- オフショア開発サービス
- オフショア開発センター (ODC) サービス

海外 Overseas Business



海外事業

多彩なサービスを日本国内と同じ品質でグローバルに展開。企業のビジネスを地球規模で支援しています。

日本国内で展開している多彩なサービスを、海外でも国内同等の品質と技術で提供しています。デジタルマーケティングサービス・コールセンターサービスはオンショア（現地・日系法人向け）、データエントリーやシステム開発などのサービスはオフショア（日本国内企業向け）で事業を展開しています。これまでのアジア地域を中心とした事業展開に加え、2008年4月にはフィリピンでの事業展開も開始し、北米での事業展開も加速させます。

- デジタルマーケティング
- コールセンター
- データエントリー
- システム開発
- エンジニアリング設計

事業開発 Investments & Business Development



事業開発投資

世界の技術動向をみつめ、高付加価値かつ競争力あるBtoB事業とBtoC事業を積極的に開発しています。

企業に提供する様々なサービスの付加価値を高めるために、常に国内外における最新のテクノロジーやサービス動向を把握し、当社のサービスメニューとして取り込んでいます。また、戦略的な投資も含めたコーポレートベンチャーキャピタル事業も行っています。過去4年度（2004年度～2007年度累計）における投資実績として、約251億円の事業開発利益を生み出しています。

● 事業開発投資

BtoC

BtoCメディアサービス

常に消費者の動向をキャッチできるように時流に乗ったインターネットメディアの開発・運営を行っています。



BtoCメディアサービスでは、一般消費者を対象としたインターネットメディアの企画・開発・運営を行っています。インターネット上の3Dバーチャルコミュニティ（メタバース）として、リアルな東京を再現する「meet-me (<http://www.meet-me.jp/>)」は、次世代メディアとして注目度の高いメディアです。またその他、商品に関する情報収集とオンラインの価格比較を同時に行うことができる「BECOME JAPAN (<http://www.become.co.jp/>)」、ゲームとアニメーションの専門ポータル「Shockwave (<http://jp.shockwave.com/>)」など、多彩なジャンルでメディアサービスを提供しています。

- 一般消費者向けインターネットメディアの企画・開発・運営

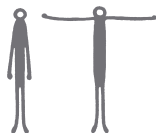
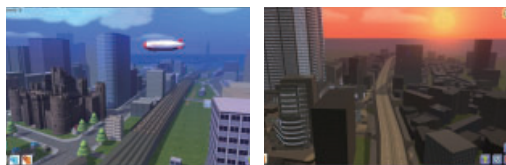
■ 2007年度の主な取り組み

産経新聞社をはじめ、大手有カメディアとの連携・協業を加速させ、メディアの開発・価値向上に取り組みました。

- ゲームソフトの企画・開発・販売を行うフロム・ソフトウェアと産経新聞社の3社でmeet-meを運営する合弁会社「Co-Core（ココア）」を設立し、メタバース事業に本格参入しました。（※2008年4月にmeet-me（正式版）が本格稼働）
- 産経新聞社と日刊工業新聞社、および子会社チームラボビジネスディベロップメントの合弁会社「産経デジタル」が運営するニュースサイト「IZA」が月間1.5億PV（ページビュー）突破し、日本最大級のニュースサイトまで成長しました。

**フロム・ソフトウェア、産経新聞社との
3社による合併で、株式会社ココアを設立**

インターネット上での3Dバーチャルコミュニティ(メタバース)事業を展開する株式会社ココアを設立。現実世界の東京をリアルに再現した「meet-me」を運営し、2008年4月に正式版をリリース。



Domestic

国内

07

4月

6月

7月

8月

9月

10月

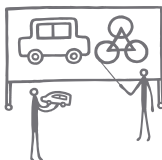
海外

International



ASEANに本格進出

シンガポールに transcosmos MCM Asia Pacific Pte. Ltd. を設立。本格的にASEANおよびその周辺地域への事業展開を開始。



**中国子会社がCMMI®
最高レベル5を取得**

中国で日系企業向けオフショア開発を提供する「大宇宙情報創造(中国)有限公司」がソフトウェア開発プロセスの能力成熟度の改善モデルのCMMI®レベル5(最高レベル)を取得。

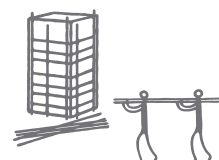
**中国に2社目となる
データエントリーセンター
を新設**

中国遼寧省本溪に「大宇宙情報システム(本溪)有限公司」を設立し、中国国内グループ企業としては9社目、データエントリーセンターとしては2社目となるセンターを新設。



**中国子会社が
ISO27001を取得**

中国で日系企業向けオフショア開発を提供する「大宇宙情報創造(中国)有限公司」が情報セキュリティマネジメントの国際標準の規格ISO27001を取得。



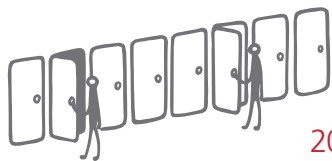
MCMセンター名古屋を新設

東海エリアでは初となるコールセンターを名古屋市に新設。



Phiedo RSSを活用した「Feed Powered」サービス提供開始を発表

自社が展開するRSSフィード広告事業ブランドPhiedoにおいて、RSSを活用した新しい広告クリエイティブ生成ツール「Feed Powered」のサービス提供を開始。



2008年

11月

12月

1月

2月

3月

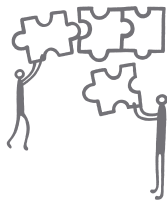
08

シンガポールの広告代理店、マンドートと資本提携

ASEAN本格進出の第一弾として、シンガポール国内最古の広告代理店で、多国籍企業のクライアントを多数持つ、Mandate Advertising International Pte Ltd. (マンドートの株式を35%取得し、資本提携を締結。

中国のインターネット関連企業2社の株式取得

中国大手オンライン広告会社「北京騰信互動广告有限公司 (TENSYN Interactive Group)」およびWebサイトのデザイン会社「欧翼網絡技術發展有限公司 (O1 Media Limited)」の株式を取得。



韓国のSEM分野で最大手のEMNET INC.と資本提携

EMNET INC.が実施した第三者割当増資などを引き受け、出資比率35%にあたる株式を取得し、戦略的な業務提携を締結。

MCMセンター仙台第二を新設

(現：MCMセンター仙台駅前広瀬通)

宮城県仙台市に県内では2拠点目となるコールセンターを新設。2拠点を合わせて県内トップクラスのセンター規模となる。



MCMセンター福岡天神を新設

福岡エリアでは初となるコールセンターを福岡市の天神に新設。2008年6月より業務を開始する予定。



企業の中国市場参入を支援するサービスを開始

中国に拠点をおくグループ企業の総合力を活かした中国市場進出支援サービスを提供開始。中国に進出する企業向けにシステム開発から顧客サポートまでワンストップで提供。

中国にグローバルITアウトソーシングサービス拠点センターを新設

中国遼寧省瀋陽に「瀋陽大宇宙情報系統有限公司」を設立し、中国における「グローバルITアウトソーシングサービス」の大型拠点としてセンターを新設。

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当連結会計年度 2008年3月31日現在	前連結会計年度 2007年3月31日現在
■資産の部		
流動資産	58,755,859	61,791,133
固定資産	38,343,011	34,589,688
有形固定資産	13,108,803	11,351,292
無形固定資産	7,361,097	5,655,537
投資その他の資産	17,873,110	17,582,858
資産合計	97,098,870	96,380,821
■負債の部		
流動負債	32,148,129	24,260,534
固定負債	15,189,842	13,049,940
負債合計	47,337,972	37,310,475
■純資産の部		
株主資本	37,939,010	44,907,778
資本金	29,065,968	29,065,968
資本剰余金	23,057,566	23,080,728
利益剰余金	3,649,849	8,576,441
自己株式	△17,834,374	△15,815,359
評価・換算差額等	5,019,802	7,638,567
少数株主持分	6,802,085	6,523,999
純資産合計	49,760,898	59,070,346
負債・純資産合計	97,098,870	96,380,821

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当連結会計年度 2007年4月1日から 2008年3月31日まで	前連結会計年度 2006年4月1日から 2007年3月31日まで
売上高	164,771,666	141,489,600
売上原価	131,179,722	107,410,359
売上総利益	33,591,943	34,079,240
販売費及び一般管理費	29,226,924	26,613,695
営業利益	4,365,018	7,465,544
営業外収益	612,881	837,481
営業外費用	1,300,080	1,013,530
経常利益	3,677,819	7,289,496
特別利益	1,566,443	12,548,621
特別損失	2,999,790	6,227,419
税金等調整前当期純利益	2,244,472	13,610,698
法人税、住民税及び事業税	3,791,218	4,117,205
法人税等調整額	2,104,659	2,156,707
少数株主損失	511,646	32,566
当期純利益又は純損失(△)	△3,139,759	7,369,350

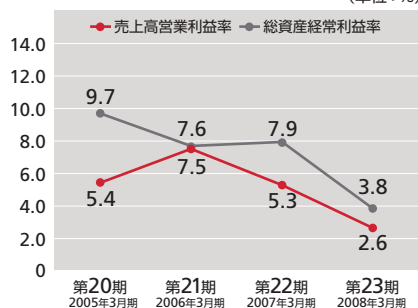
連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:千円)

科目	当連結会計年度 2007年4月1日から 2008年3月31日まで	前連結会計年度 2006年4月1日から 2007年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	760,788	5,140,980
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,533,161	△3,524,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,091,545	△1,999,290
現金及び現金同等物の期末残高	14,821,707	21,782,606

売上高営業利益率・総資産経常利益率

(単位:%)



連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 (2007年4月1日から2008年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日残高	29,065,968	23,080,728	8,576,441	△15,815,359	44,907,778	2,303,292	-	5,335,275	7,638,567	6,523,999	59,070,346
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当 (注)			△1,705,462		△1,705,462				-		△1,705,462
当期純損失			△3,139,759		△3,139,759				-		△3,139,759
自己株式の取得				△2,067,108	△2,067,108				-		△2,067,108
自己株式の処分		△23,161		48,092	24,930				-		24,930
従業員奨励及び福利基金			△15,620		△15,620				-		△15,620
合併に伴う減少			△56,727		△56,727				-		△56,727
持分法適用会社減少に伴う減少			△9,021		△9,021				-		△9,021
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)					-	△1,992,762	△7,134	△618,868	△2,618,765	278,086	△2,340,679
連結会計年度中の変動額合計	-	△23,161	△4,926,591	△2,019,015	△6,968,768	△1,992,762	△7,134	△618,868	△2,618,765	278,086	△9,309,448
2008年3月31日残高	29,065,968	23,057,566	3,649,849	△17,834,374	37,939,010	310,530	△7,134	4,716,406	5,019,802	6,802,085	49,760,898

(注) 2007年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

会社概要／株式の状況 (2008年3月31日現在)

会社概要

会社名	トランスコスモス株式会社
(商号)	トランス・コスモス株式会社 (transcosmos inc.)
所在地	東京都渋谷区渋谷三丁目25番18号 〒150-8530
電話番号	03-4363-1111 (大代表)
FAX番号	03-4363-0111
設立年月日	1985年6月18日(登記上 1978年11月30日)
資本金	290億6,596万円
従業員数	本体: 8,340名 グループ: 11,883名
主要取引銀行	三井住友銀行、みずほコーポレート銀行、三菱東京UFJ銀行

株式の状況

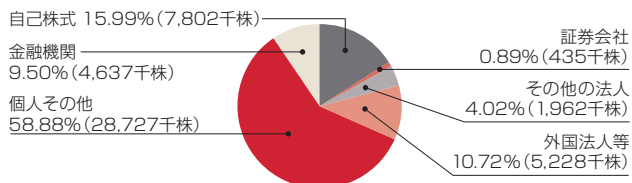
発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式の総数	48,794,046株
株主数	22,538名

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
奥田 耕己	7,478	18.24
奥田 昌孝	5,910	14.42
平井 美穂子	2,185	5.33
財団法人奥田育英会	1,753	4.28
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,731	4.22
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505012	889	2.17
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口4)	717	1.75
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) アカウント ノン トリーティー	616	1.50
メロン バンク エービーエヌ アムロ グローバル カスタディ エヌ ブイ	591	1.44
ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	500	1.22

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、小数第二位を四捨五入により表示しております。
3. 出資比率は、自己株式(7,802千株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況

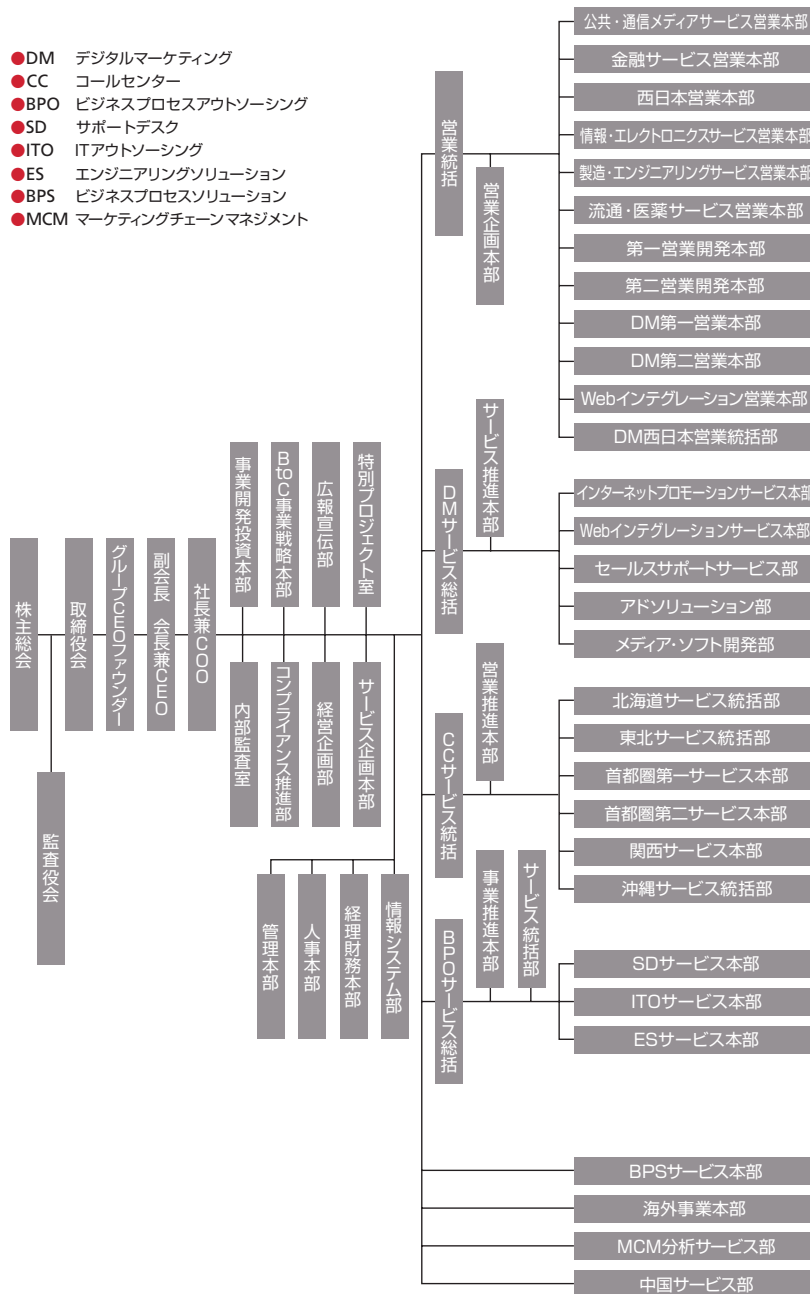


- (注) 1. 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 比率は、小数第二位を四捨五入により表示しております。

役員構成 (2008年6月25日現在)

代表取締役グループCEO ファウンダー	奥田 耕己
代表取締役会長兼CEO	船津 康次
取締役副会長	後藤 攻
代表取締役社長兼COO	奥田 昌孝
取締役副社長	石見 浩一 高嶋 正二郎
専務取締役	森山 雅勝 永倉 辰一 向井 宏之
社外取締役	吉岡 大樹 高尾 吉郎 神山 陽子 夏野 剛
常勤監査役	石岡 英明
監査役	日色 輝幸 渡邊 和志 中村 敏明
上席常務執行役員	下總 邦雄 牟田 正明 貝塚 洋 多田 真之 藤元 伸彦 河野 洋一
常務執行役員	高野 雅年 宮領 常隆 森田 祐行 山喜 和彦 岡本 浩司 早見 泰弘 井上 博文 清水 一洋 沖野 公秀 梅村 和広
執行役員	内村 弘幸 吉田 啓介 松原 健志 小島 豊 日高 俊児 植松 芳宏 久保 雄一郎 荻野 正人 古原 広行 荒木 正敏

- DM デジタルマーケティング
- CC コールセンター
- BPO ビジネスプロセスアウトソーシング
- SD サポートデスク
- ITO ITアウトソーシング
- ES エンジニアリングソリューション
- BPS ビジネスプロセスソリューション
- MCM マーケティングチェーンマネジメント



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公示して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先および連絡先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417 (その他のご照会) ☎0120-176-417
インターネットホームページURL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 全国本支店
告 告 の 方 法	電子公告の方法により行います。 ※ただし、電子公告による公告をすることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。 公告URL: http://www.trans-cosmos.co.jp

なお、単元未満株式の買取請求および買増請求につきましては、上記の住友信託銀行株式会社本支店又はお取引の証券会社本支店においてお取扱いしております。

ホームページのご案内

詳しい財務情報や最新のIRリリース、決算説明会資料などを紹介するIRライブラリーなど当社のIR情報をご覧いただけます。

<http://www.trans-cosmos.co.jp>



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9715

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com